

2022年4月1日

多摩清掃工場で発電した電力を調達し、多摩市の公共施設に供給

日立造船株式会社は、2022年4月より多摩清掃工場で発電した電力を調達し、東京都多摩市の公共施設にカーボンゼロの電力の供給を行います。

多摩市では地球温暖化対策に取り組んでおり、2050年までのカーボンゼロを目指し、資源の有効活用などの施策を推進しています。その取り組みの一環として、多摩市と当社の間で、「多摩清掃工場の発電余剰電力を活用した電力地産地消事業」に関する電気需給契約が締結されました。

同契約に基づき、当社は多摩清掃工場で発電される電力を、運営事業者である多摩ニュータウン環境組合より調達し、多摩市の市役所本庁舎や小・中学校、コミュニティセンターなど全45施設へ供給します。本取組みにより、年間で約3,396トン*のCO2排出量の削減を見込んでいます。

*東京電力エナジーパートナー株式会社が公表しているCO2排出係数をもとに算出

【当社の小売電気事業について】

当社グループは、アジアや欧州を中心に約1,000件のごみ処理プラントの建設を手掛けており、世界トップクラスの実績を有しています。また、2015年より再生可能エネルギーを使用した小売電気事業に参入し、これまでに東京都庁舎や国立市役所本庁舎、大阪府大手前庁舎などに再生可能エネルギー電力を供給してきました。

当社の小売電気事業は、ごみ焼却発電から約75%を調達することにより、CO2の排出量が低く*、また、天候などの影響を受けずに豊富で安定した再生可能エネルギーを供給しています。

当社は再生可能エネルギーの普及を通じて、今後も国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献していきます。

*2020年度実績 基礎排出係数 0.082kg-CO2/kWh、調整後排出係数 0.027kg-CO2/kWh

本件の概要

電力供給施設	多摩市の公共施設（全45施設）
年間電力供給量（予定）	7,666,344kWh
年間CO2削減量（予定）	約3,396t-CO2
契約期間	2022年4月～2023年3月